

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」掛川校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		170m ² のワンフロアである為、個別療育の事業所としては十分な広さが確保されている。大部屋をパーティションで分けて使用したり、お子さんが友達と遊びたいといった要望に応じて広く使用したり、臨機応変に対応している。	お子さんの調子に合わせて部屋割りをしている。
	②	職員の配置数は適切である	6	2	近隣の事業所と連携を取り、補充をしている。	ぎりぎりの配置になる場合がある為、補充人員確保が課題ではあるが、本部が補充に向け対応を急いでいる。2月には保育士が補充される予定である。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8		事業所内は段差もなく、トイレも広く、バリアフリー化されている。	事業所が2階にあるが、階段幅が広く、手すりをつけて対応。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8		毎朝清掃消毒を行っている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7	1	支援等の振り返りが行えるよう申し送りの時間を設け出勤職員は参加している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		保護者様が率直な意見を伝えやすいように、QRコードを作成し、Googleフォームでも回答いただけるようにした。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8		HPに公表し、事業所内に掲示している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3		現在検討中。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		毎月、テーマを決め、内部研修を行っている。また、今	

				年度から掛川市未来学会に入会し、外部研修にも参加している。		
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		会社独自のアセスメント用紙のほか、その子にあった情報を収集できるよう様々な用紙を使用している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	発達検査の結果をお持ちいただくよう声をかけさせていただいている。	来年度より、知能検査が行えるよう検査キットを購入し、検査できる者の育成を行っている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8		支援後に保護者から日々の様子や困り感などの聞きとり、また、状況に応じ園に出向き先生方の話を伺い、職員間で共有し具体的に支援の内容を設定している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		計画を意識した支援が行えるよう、プログラム表に支援目標を記載している。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		朝礼にて、前日の支援について報告し、支援内容を検討、確認、共有している。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		全職員がそれぞれ、アイデアを出せる雰囲気がある。担当制ではないため、それぞれの職員のオリジナリティを出せる仕組みになっている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8		個別療育を中心とした事業所ではあるが、お子さんの特性や課題にあわせ、小集団活動を組み合わせた計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8		毎朝、朝礼を行い、その日の利用者や支援内容の確認を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	常に気がついた時点で報告や相談が行われている。職員同士、密に連携がとれている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		担当が変わってもすぐに前の支援が確認できるよう、	

				個人ファイルを作成し、支援記録は遅くとも翌々日にはファイリングされている。	
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8		モニタリング会議を行い、個別支援計画の見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		ガイドラインを意識したプログラムの作成を行っている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8		市や園と積極的に連携をとるよう努めている
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			扱っていない。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			扱っていない。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	他の児童発達支援事業所と連携をとれる関係を築いており、必要に応じて情報共有を行っている。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	1	今年度は対象者がいなかったが、提供を行っている。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	センターの並行通園、親子通園の見学に行かせていただいたり、センターの施設長との面談をさせていただいたり、東遠地区生活支援センター所長が事業所の見学に来ていただいたりと連携、助言等を密に行っている。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7	1	保育所やこども園に在籍しているお子さんが利用しているため、当事業所では保護者様からのニーズがないため行っていない。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	2	管理者が必ず協議会に参加し、事業所内で報告、回覧している。

	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		支援終了後に保護者様へのフィードバックのお時間を設け、学校や家での様子を伺い、発達の状況や課題について共通理解が図れるよう努めている。	
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	6	2	フィードバックの時間や事業所内相談等で、親御さんの困りごとへの対応や助言等を行っている。また、気軽に相談できるよう保護者様への声掛けを心がけている。	今年度はまだ、開催できていないため、保護者会開催とペアレントトレーニング等の開催を検討していきたい。
保護者への説明責任等	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時必ずご説明をしている。	
	⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8			
	⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		若い職員は相談に応じることができないと感じているが、ベテラン職員に繋げるなど、対応することができている。	
	⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8		父母会の開催が今年度はできていない。 イベントや同時間帯に居合わせる保護者同士が話せるスペースや会の開催を検討している。	
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8			
	⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		インスタ等で発信している。	
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	7	1		今後も全職員に意識向上を図ってきたい。
	⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		視覚的な補助を使う等、工夫している。他国籍の保護者様には、翻訳アプリ等	

					を使い意思疎通を図っている。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	1	個別療育という特性上、保護者様の理解が得られない。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8		マニュアルは作成され、定期的に回覧を行っている。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8		毎月、様々な災害の発生を見据えた訓練を計画的に行っている。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8		契約時、書面にて確認している。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		契約時、書面にて確認している。	食事の提供は行っていないが、イベント等で菓子を配布や小麦粉粘土などの活動を行う際には必ずアレルギーの確認を行っている。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8		自事業所の事例だけでなく、県西部地区の他の事業所の事例も共有している。	新規の職員には必ず報告書のファイルを確認している。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		毎年研修を行っている。	県西部地区のきらりで委員会を設置している。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8		重要事項説明書に詳細を記載し、契約時に説明。	個別支援計画にも記載し、説明を行っている。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」掛川 校

保護者等数（児童数）：19人 回収数：13人 割合：68%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13				落ち着いた空間、安心できる場所（先生たちがいる場所等）があり、安心して通わせることができる。	ありがとうございます。安心できる場の提供を引き続き行ってまいります。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	12			1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	2		1		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	12			1	一人一人にあったカリキュラムがあり、子どもの様子を細かく丁寧に親に教えていただきありがたいです。	ありがとうございます。日々精進してまいります。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	1		1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	2		1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	3		3		
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1				

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	1				
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	2		2		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	11	2				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10	2	1			
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	3	3	同年齢の子との集団遊びもあり良いと思います。	保護者様のコミュニティの場の提供も行っていけるよう工夫していきたいと思えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11	1		1	一緒に考え、その都度よい方法をアドバイスしてもらっています。	ありがとうございます。日々精進してまいります。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	1			悩みも含め、本人のことも理解し、親に伝えてくれます。	ありがとうございます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	2		4		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	12			1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	10	3				
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	3		4		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	1				
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。